【事例　15】

乳・木の実アレルギーをもつ小学校3年生やせ女子児童に対する個別的な相談指導

【小学校、3年、女子】

友達と違う代替食を避けたい児童の気持ちに寄り添い、納得できる代替食と間食摂取で「食べられる・続けられる」形に。食事量が改善し目標を達成。

■要旨

1. 対象者の抽出・決定
・食物アレルギーによる学校生活管理指導対象者のうち、4月の発育測定結果から肥満度-18%以下の児童
2. 目的・個別的な相談指導実施期間
・目的：やせの改善　期間：2か月
3. アセスメント（計画前の現状把握と課題の抽出）
・身長：127.9cm　体重：21.6 kg　肥満度：-19.2% ・乳、木の実類の即時型食物アレルギーがある。 ・食事調査から　ア　1日のエネルギー摂取量が少ない。（平均 1,519kcal/日） イ　平日の昼食（給食）からのエネルギー摂取量が少ない。（155kcal/回） ウ　たんぱく質の摂取量が多い。（2.7g/kg 体重）
4. 個人目標
・2か月後の身長を 129.5cmと仮定し、体重 22.6kg（＋1kg）、肥満度-18.2%とした。
5. 相談指導計画
・栄養補給計画：エネルギー＋130kcal、たんぱく質-5g ・行動計画：① 平日下校後に、間食（100kcal）を食べる。 ② 給食時に野菜ジュース1本（200ml）を飲む。 ③ 給食の主食がパンの日は代替食の乳抜きパンを1つ（60g）食べる。 ④ 朝食の豆乳ヨーグルトをバナナ（100g）に置き換え、豆乳に加えるきなこプロテイン（カルシウム強化食品）は従来の半量とする。 ⑤ ④によるカルシウム摂取量減少を補足するため、ごはんにカルシウム強化米を加える。
6. 実施・モニタリング
・毎日すくすくファイルに行動目標の達成状況を記録し、週1回身長と体重を保健室で計測した。 ・個別、集団での栄養教育を計画的に実施した。 ・栄養教諭が行動計画の実施状況をモニタリング、養護教諭が体重測定時に気持ちの聞き取りを行い、連携して支援した。
7. 再アセスメント（実施後の現状把握と課題の抽出）
・身長：129.5cm　体重：22.6kg　肥満度：-18.2% ・児童の給食を食べることへの意欲や周囲と異なる給食を食べることへの安心感が高まった。 ・食事調査から　ア　1日のエネルギー摂取量が増加した。（平均 1,678kcal/日） イ　平日の昼食（給食）からのエネルギー摂取量が増加した。（192kcal l/回） ウ　たんぱく質摂取量が減少した。（2.3g/kg 体重）
8. 個人評価
・個人目標である体重1kg 増加は達成された。 ・食に関する意識や行動の変化が目標達成に関与したと考えられる。

1. 対象者の抽出・決定

(1)スクリーニング

①スクリーニング条件

・食物アレルギー管理指導対象者のうち、4月の発育測定結果から肥満度-18%以下*の児童

*4月発育測定時の全児童の肥満度のうち、数値の低い順から 10 名の数値を抽出し、そのうちの最大値(肥満度-18%)を、本校における今年度のやせのスクリーニング条件とした。

②スクリーニング結果

・食物アレルギー管理指導対象者(5名)→4月の発育測定の結果で肥満度-18%以下の児童(1名)

2. 目的・個別的な相談指導実施期間

(1)目的

やせの改善

(2)個別的な相談指導実施期間とスケジュール(予定含む)

期間:2 か月

スケジュール:

	準備期間											実施期間 2か月	評価期間		
内容	身体測定	実態把握	スクリーニング	対象者決定	身体測定 アセスメント	面談①・食事調査聞き取り	個人目標決定	栄養補給計画作成	行動計画作成	追加食事調査	面談②・行動計画決定	栄養教育計画・連携計画の決定	実施・モニタリング	再アセスメント	個人評価	面談③

(3)対象者

食物アレルギーをもつやせの小学3年女子児童

3. アセスメント(計画前の現状把握と課題の抽出)

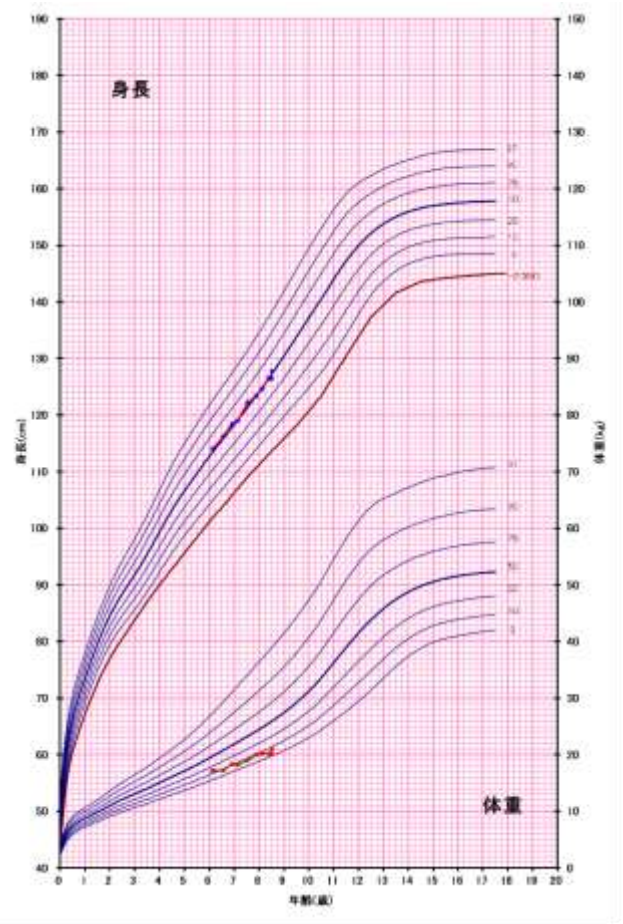
(1)体格等

アセスメント時:身長 127.9 ㎝、体重 21.6kg、肥満度－19.2%

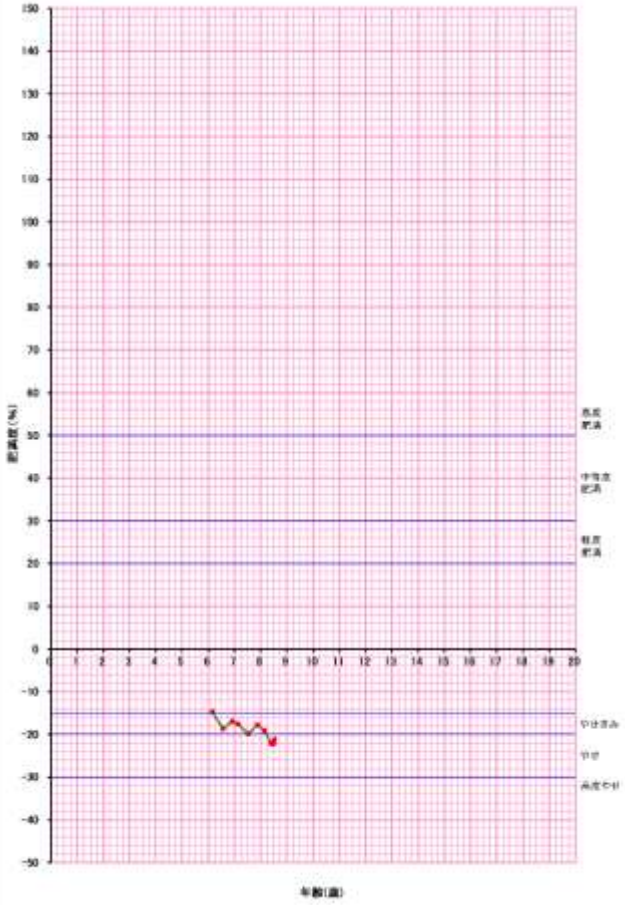
・身長・体重の経過及び現状

学齢	小1 4月	小1 9月	小1 1月	小2 4月	小2 9月	小2 1月	小3 4月	小3 7月	小3 9月
年齢	6歳1か月	6歳6か月	6歳 10 か月	7歳1か月	7歳6か月	7歳 10 か月	8歳1か月	8歳 4 か月	8歳 6 か月
身長(cm)	114.1	116.2	118.4	119.0	122.2	123.4	124.7	126.5	127.7
体重(kg)	17.2	17.2	18.4	18.2	19.0	20.0	20.2	20.2	21.0
肥満度(%)	-14.8	-18.6	-16.9	-17.6	-19.9	-17.8	19.0	-22.2	-21.2

成長曲線



肥満度曲線



現状

・身長は伸びているが、体重に変化がないことや減少していることがあり、徐々に肥満度の減少が進行している。

・小学3年7月に肥満度-22.2%、やせ傾向になった。

・保護者はやせが進行していることを心配している。

課題

・小学3年7月に肥満度-22.2%、やせ傾向になった。

（2）生活習慣等

①体調

現状

・心身の不調や生活における困り感はない。
・排便は食後すぐに、ほぼ毎日ある。

課題

・なし

②生活・運動

現状

・同居家族：母、妹（小学生）、祖父母が隣居している。
・起床時間：平日6時 30 分頃　休日8時頃。
・就寝時間：平日休日 21 時
・通学：登校は徒歩で約 30 分。下校は小学校隣の児童館から保護者の車で送迎。
・習い事：バレエ週1回（2時間）。他に英語・そろばん・ピアノ。移動は母による車送迎。
・休み時間：友人と外遊びをしている。

課題

・なし

③食事・食生活

現状

・朝食：平日7時頃・休日9時頃から、15～20 分間かけて食べている。
・昼食：平日（給食）12 時 15 分頃、休日 12 時 30 分頃
・夕食：平日・休日 18 時頃から、30～40 分かけて食べている。
・調理は母が行い、家庭の食事を好む。外食や惣菜の使用は1～2回/月。
・好きな食べ物は魚料理、油揚げ、稲荷寿司、赤飯で、さっぱりした味付けを好む。
　苦手とする甘い味付けや、こってりとした料理の提供機会は少ない。
　サラダのドレッシングや揚げ物のソースを好まず、かけないで食べることが多い。
・水分摂取は麦茶を基本としている。他に、カルシウム摂取のため、毎日、朝食にカルシウム強化食品の大豆プロテインを入れた豆乳を飲んでいる。
・間食：平日は習い事から帰宅後、すぐに夕食になるため食べる習慣がない。
　　休日など外出した時に食べるのみで週1回程度。
　　菓子類は食後にデザートとして食べ、母が選ぶことが多い。
・給食：乳・卵一括除去の除去食が提供されている。代替食の提供はない。
　　パンの日は家庭から代替のパンを持参している。牛乳の代替食の持参はない。

【本市における食物アレルギーに対する対応】
・食物アレルギー対応を希望する学校生活管理指導対象者には乳卵一括除去の除去食が提供されている。代替食の提供はない。1人分が専用の保温保冷弁当箱に個別に盛り付けられており、皿への開け替えはしないことが決められている。
・市の食物アレルギー対応マニュアルにおいて、除去食提供者は教室ではおかわりをしないことが決められているため、 副菜と汁物は1人分の盛り付け量が通常食よりも多く配膳されている。
・市の食物アレルギー対応マニュアルにおいて、給食ではくるみ・アーモンド・カシューナッツ・マカ

・家庭から持参した代替のパンを隠して食べたり、食べ残しがロッカー奥から見つかったりすることがあり、主食を食べていない日がある。
（計画開始前に自分だけが違うパンを食べることが嫌だったという理由を打ち明けてからは、隠れて食べることはなくなった。）
・給食の片付け時には除去食用弁当箱を体で隠すように運んでいる。
・周りの目が気になるという発言があった。特に代替食を持参している日は、目をそらすなどコミュニケーションを取りたがらない様子がある。
・給食の喫食量が少ない。
主食：ごはんの場合、米飯提供量 180gのうち 1/5～1/3 喫食。
主菜：全量喫食が1～2回/週。残す日はほとんど手を付けない。
副菜：全量残す。汁物は一口程度しか口を付けない。
・食べ慣れないメニュ―（ビビンバ、ゴーヤチャンプルー）は、箸にとってからじっくり観察して口に運んでいる。
・給食には苦手な味が出ることが多いと感じている。
・給食当番などは進んで行うが、食事中に喜んで美味しそうに食べる様子はない。

課題
・給食の喫食量が少ない。
・給食中、周囲の目を気にしながら食べている。
・牛乳の代替食の持参がない。

④食物アレルギー

現状
・即時型食物アレルギーを有する。原因食品は乳、木の実類。
・乳は1歳から経口負荷試験を実施。現在、経口免疫療法としてヨーグルト8gを毎朝摂取している。
・木の実類は未摂取。アナフィラキシーの既往がある。
・入学前に卵アレルギーが解除になっている。
・エピペンの処方がある。症状が出た時には、まず抗ヒスタミン薬を服用する。
・誤食時は蕁麻疹・かゆみから始まり、進行するとゼーゼーした呼吸になる。
・受診頻度は年に1回。
・7月は登校前後に口の周りの腫れなど、アレルギー症状が2回出現した。

・給食における食物アレルギーによる個別対応について、周りの目を気にしている。

課題

・7月は登校前後に口の周りの腫れなど、アレルギー症状が2回出現した。
・給食における食物アレルギーによる個別対応について、周りの目を気にしている。

（3）食事調査

①調査方法

・平日2日、休日1日の合計3日間、食事記録および食事写真の確認、聞き取りを行った。
・食事記録は、保護者に ICT を活用したコミュニケーションツールによる記録を依頼した。
・食事写真は、保護者に撮影を依頼した。
・食事記録および食事写真は、栄養教諭へ提出するよう依頼した。
・食事記録法および食事写真で不明な点は電話により保護者から聞き取った。

②解析方法

・上記の方法から、朝食、昼食、夕食、間食に分け、栄養素等摂取量を「日本食品成分表（八訂）」から算出した。

(4)食事調査結果

①1日目(平日)

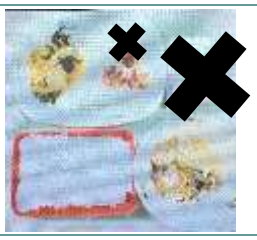
朝食	昼食	夕食
		
・ごはん ・しょうゆごまふりかけ ・豆乳ヨーグルト (いちごソースかけ) ・ブルーベリー ・きなこプロテイン入り豆乳 (豆乳 150mL にプロテイン大さじ 1.5) ★普通のヨーグルト(8g)	・乳不使用コッペパン **(全量残し)** ・ウインナーチリソース **(2/3 喫食)** ・大豆とツナのサラダ **(全量残し)** ・麦と野菜のスープ **(スプーン1杯喫食)**	・お赤飯 ・麦茶 ・コロッケ1つ (2つ配膳し、1つ残した) ・キャベツの千切り ・ミニトマト ・中華サラダ ・豆腐とえのきと油揚げの味噌汁 ・アレルギー対応ケーキ ・セミドライソーセージ1つ

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	456	23.0		11.2	71.4	444	94	3.4	10	0.1	0.16	0.12	3	6.3	0.7
給食	117	4.5		8.6	3.4	7	5	0.2	19	0.1	0.02	0.01	5	0.5	0.2
夕食	820	23.7		30.7	122.0	124	84	3.0	167	1.5	0.39	0.31	71	8.7	2.5
間食															
合計	1,393	51.2	2.4	50.5	196.8	575	183	6.6	196	1.7	0.57	0.44	79	15.5	3.4

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.9g

②2日目(平日)

朝食	昼食	夕食
		
・ごはん ・のりたまふりかけ ・豆乳ヨーグルト (いちごソース、ドライフルーツのせ) ・ブルーベリー ・きゅうりの浅漬け 2 切れ ・きなこプロテイン入り豆乳 (豆乳 150mL にプロテイン大さじ 1.5) ★普通のヨーグルト8g	・麦ごはん **(1/3 喫食)** ・揚げシュウマイ 15g×2個 **(全量喫食)** ・ほうれん草とくらげのサラダ **(全量残し)** ・卵抜き厚揚げのゴーヤチャンプルー **(豚肉一欠けら喫食)**	・ごはん ・納豆 ・おさかなつくね(4つ) ・レンコンと人参の煮物 ・アスパラガスの胡麻和え ・ぜんざい

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	527	23.4		11.3	88.8	445	95	3.4	10	0.1	0.16	0.12	3	7.2	0.9
給食	193	4.8		7.4	28.2	10	13	0.4	2	0.0	0.08	0.04	0	1.5	0.4
夕食	790	31.6		16.2	136.5	183	119	4.8	234	6.0	0.22	0.61	18	12.2	4.0
間食															
合計	1,510	59.8	2.8	34.9	253.5	638	227	8.6	246	6.1	0.46	0.77	21	20.9	5.3

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.2g

②3日目(休日)

朝食	昼食	夕食
		
・コーンフレーク(豆乳かけ) ・豆乳ヨーグルト (いちごソース、ドライフルーツのせ) ・バナナ ・きなこプロテイン入り豆乳 (豆乳 150mL にプロテイン大さじ 1.5) ★普通のヨーグルト8g	・そばめし(冷凍食品) ・トースト(6枚切り食パン1枚) ※1/2 枚お代わりをして1枚分喫食 ・はちみつ ・ミニトマト ・魚肉ソーセージ1本 ・シャーベット(一口大2つ) ・フルーツグミ(一口大1つ)	冷やし中華1人前 (きゅうり、ミニトマト、ハム、鶏卵) 冷奴170g ソフトキャンディ 大福(一口大・りんご味)

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	574	25.7		14.8	89.9	598	132	11.4	5	3.3	0.60	0.33	53	6.9	0.9
昼食	477	11.6		9.7	87.6	54	34	1.1	45	0.2	0.16	0.27	19	4.9	2.7
夕食	602	26.1		12.6	102.6	136	80	2.7	96	1.2	0.41	0.24	19	8.7	4.9
間食															
合計	1,653	63.4	2.9	37.1	280.1	788	246	15.2	146	4.7	1.17	0.84	91	20.5	8.5

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.4g

③食事調査結果　まとめ

平日2日間の平均および休日の栄養素等摂取量

〔平日2日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,452	55.5	2.6	42.7	225.2	607	205	7.6	221	3.9	0.52	0.61	50	18.2	4.4

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.1g

〔休日1日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,653	63.4	2.9	37.1	280.1	789	246	15.2	146	4.7	1.17	0.84	91	20.5	8.5

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.4g

〔平日2日間・休日1日間　合計3日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,519	58.1	2.7	40.8	243.5	667	219	10.1	196	4.2	0.73	0.68	64	19.0	5.7

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.2g

現状

・毎日、朝食を摂っている。
・毎日、朝食にカルシウム強化食品の大豆プロテインを入れた豆乳を飲んでいる。
・昼食のエネルギー摂取量が、休日は 477kcal/回、平日(給食)は 155kcal/回と少ない。
・給食で牛乳の代替食を摂取していない。
・給食の主食がパンの日(週 1.5 回)は持参した代替食のパンを食べていない。
・給食の副食は主菜 12.5%、副菜0%、汁物 1.2%と喫食量が少ない。
・1日のエネルギー摂取量が、平均 1,519kcal/日であり、少ない。
・1日のたんぱく質の摂取量が体重1kg あたり 2.9g であり、過剰である。
・野菜の摂取量が朝食では 1.6g/回、昼食では 16.7g/回であり、夕食 113.3g/回に比べて少ない。
・ビタミン A の摂取量が 196μgRAE/日であり少ない。
・ビタミン D の摂取量が 4.2μg/日であり少ない。

課題

・昼食のエネルギー摂取量が、休日は 477kcal/回、平日(給食)は 155kcal/回と少ない。
・給食で牛乳の代替食を摂取していない。
・給食の主食がパンの日(週 1.5 回)は持参した代替食のパンを食べていない。
・給食の副食は主菜 12.5%、副菜0%、汁物 1.2%と喫食量が少ない。
・1日のエネルギー摂取量が、平均 1,519kcal/日であり、少ない。

・1 日のたんぱく質の摂取量が体重1kg あたり 2.7g であり、過剰である。
・野菜の摂取量が朝食では 1.6g/回、昼食では 16.7g/回であり、夕食 113.3g/回に比べて少ない。
・ビタミン A の摂取量が 196μgRAE/日であり少ない。
・ビタミン D の摂取量が 4.2μg/日であり少ない。

(5)アセスメントから抽出した課題

図１の「課題の改善可能性と重要度マトリクス」を用い、アセスメントから抽出した課題を整理した。網掛けの項目は、今回の個別的な相談指導で改善対象とする課題である。

① 1日のエネルギー摂取量が、平均 1,519kcal/日であり、少ない。
② 昼食のエネルギー摂取量が、休日は 477kcal/回、平日(給食)は 155kcal/回と少ない。
③ 1 日のたんぱく質の摂取量が体重1kg あたり 2.9g であり、過剰である。
④ 給食の主食がパンの日(週 1.5 回)は持参した代替食のパンを食べていない。
⑤ 給食の副食は主菜 12.5%、副菜0%、汁物 1.2%と喫食量が少ない。
⑥ 給食で牛乳の代替食を摂取していない。
⑦ 野菜の摂取量が朝食では 1.6g/回、昼食では 16.7g/回であり、夕食 113.3g/回に比べて少ない。
⑧ ビタミン A の摂取量が 196μgRAE/日であり少ない。
⑨ ビタミン D の摂取量が 4.2μg/日であり少ない。

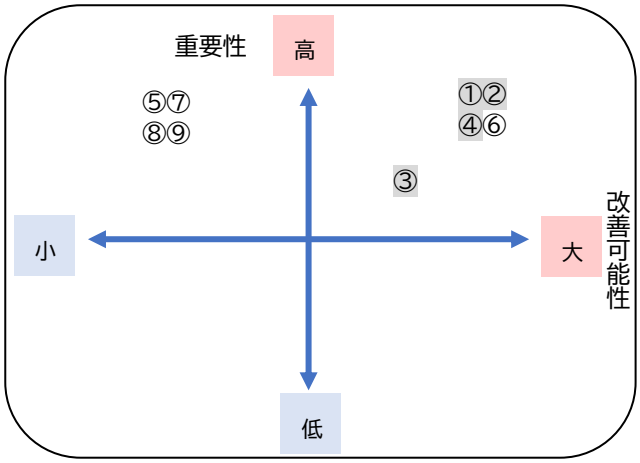


図1　課題の改善可能性と重要度マトリクス

4. 個人目標

(1)目標

【目　標】体重1kg 増加(身長:129.5 cm 体重:22.6kg 肥満度-18.2%)
【期　間】2か月

(2)個人目標設定根拠(実施期間終了時の身長・体重の予測値を算出したうえで根拠を明確にする)

時期	3 年生			12 月(仮定)			
	アセスメント時			指導なし	指導あり		
	4 月	9月	10月		体重 +0.5kg	体重 +1 kg	体重 +1.5kg
身長 (cm)	124.7	127.7	127.9			129.5	
体重 (kg)	20.2	21.0	21.6	21.6	22.1	22.6	23.1
肥満度 (%)	-19	-21.2	-19.2	-21.9	-20. 1	-18.2	-16.4

・小3年4月～9月の身長の伸びから 127.7 cm→129.5 cm(+1.8 cm)と予測した。
・昼食が給食だった4月から7月は体重が変化しなかった。しかし、家庭で昼食を食べる機会が増えた夏休み中は体重が増加した。このことから、指導なし場合、アセスメント時 10 月から2か月後の体重は変化がないと予測した。

5. 相談指導計画

(1)栄養補給計画

①計画

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
アセスメント	1,519	58.1	2.7	40.8	243.5	667	219	10.1	196	4.2	0.73	0.68	64	19.0	5.7
方法案	+130	-5.0													
栄養補給計画	1,650	53.1	2.2	45.0	260.0	750	160	8.0	500	6.5	0.7	1.0	60	11以上	5.0

②設定根拠

【エネルギー】

・指導なし場合、アセスメント時から2か月後の身長 129.5cm、体重 21.6kg と仮定した。

・身長の伸びに合わせ、食事量に対して無理のない範囲で体重を増量し、やせを改善(肥満度増加)するために、現体重 21.6kg+1.0kg=22.6kg への増量が必要であると考えた。

・以上のことから 7,200kcal×1kg/65 日=110.7 kcal/日≒110kcal/日
これに加えて、たんぱく質摂取量を 1 日 5g 減らすことに伴うエネルギー減少分(20kcal)を補填するため、最終的なエネルギー摂取量は 1 日あたり+130kcal を目標として設定した。

【栄養素】

・体重あたり1kg あたりのたんぱく質摂取量を0.5g減らすために、1 日あたりのたんぱく質摂取量5g減少を目標として設定した。

・脂質のエネルギー比率を 25%に設定し、炭水化物については総エネルギーからたんぱく質および脂質の占める割合を差し引いた値に基づき決定した。
無機質、ビタミン等については「日本人の食事摂取基準 2025 年版」に沿った数値とした。

③実現のための方法案

方法	対応課題	内容	実施回数	1回あたりの栄養価				
				エネルギー（kcal）	たんぱく質（g）	脂質（g）	炭水化物（g）	カルシウム（mg）
A	①	平日下校後に、間食（100kcal）を食べる。						
		例）カステラ１切れ（35g）を食べる。	5回/週	109	2.5	1.8	21.6	10
		例）練り羊羹（35g）を食べる。	5回/週	101	1.3	0.1	24.5	12
B1	①②	給食時に Ca 強化りんごジュース1本（125ml）を飲む	5回/週	65	0.1	0.0	16.2	140
B2	①②	給食時に野菜ジュース1本（200ml）を飲む。	5回/週	67	0.8	0.0	16.3	30
C	①②④	給食の主食がパンの日は代替食の乳抜きパンを1つ（60g）食べる。	1.5 回/週	150	5.3	2.5	27.8	13
D1	③	朝食の豆乳ヨーグルトをバナナ（100g）に置き換え、きなこプロテイン半量＋豆乳に変更する。	7回/週	0	-7.4	-3.2	-13	-240
D2	③	朝食のきなこプロテイン入り豆乳をオーツミルク（150ml）＋はちみつ（20g）に変更する。	7回/週	-38	-14.3	4.1	19.1	-76
（D）	③	ごはんにカルシウム強化米を加える。	10 回/週	3	0.0	0.0	0.6	40

※D によるカルシウム摂取量減少を補足するための方法案として、（D）を提案した。

提案する組み合わせ方

組み合わせ	A	B	C	D	（D）	計
A+B1+C+D1+（D）	+71kcal	+46kcal たんぱく質 +0.1g	+32kcal たんぱく質 +1.1g	±0kcal たんぱく質 −7.4g	+4kcal たんぱく質 +0.0g	**+153kcal たんぱく質 −6.2g**
A+B2+C+D1+（D）		+48kcal たんぱく質 +0.6g		±0kcal たんぱく質 −7.4g		**+155kcal たんぱく質 −5.7g**
A+B1+C+D2+（D）		+46kcal たんぱく質 +0.1g		−38kcal たんぱく質 −14.3g		**+115kcal たんぱく質 −13.1g**
A+B2+C+D2+（D）		+48kcal たんぱく質 +0.6g		−38kcal たんぱく質 −14.3g		**+117kcal たんぱく質 −12.6g**

上記のうち、A+B2+C+D1+（D）の組み合わせ方を選択した。

(2)行動計画

児童	A	平日下校後に、間食(100kcal)を食べる。
	B2	給食時に野菜ジュース1本(200ml)を飲む。
	C	給食の主食がパンの日は代替食の乳抜きパンを1つ(60g)食べる。
	D1	朝食にバナナ(100g)を食べ、豆乳(150ml)を飲む。 ※豆乳は1日おきに、きなこプロテイン入り豆乳とする。
	他	毎日すくすくファイルに行動目標の実施状況を記録する。
保護者	A	下校後、間食(100kcal)を用意する。
	B2	給食時に野菜ジュース1本(200ml)を用意する。
	C	給食の主食がパンの日は代替食の乳抜きパンを1つ(60g)を用意する。
	D1	朝食にバナナ(100g)と豆乳(150ml)を用意する。 ※豆乳は1日おきに、きなこプロテインを入れる。
	E	カルシウム強化米を混ぜて炊飯をする。 (ごはん 130g分に対してカルシウム強化米 0.8gを混ぜる。)

(3)栄養教育計画

日時	場所	実施者	対象者	内容【方法】	見取り方法
10月 2日	カウンセリングルーム	栄養教諭 養護教諭	保護者 児童	・身体状況について ・エネルギー摂取量を増やすための間食の選び方について ・食事状況の共有(家庭・学校)	
10月 21日 特別献立(アレルゲン28品目・動物性食品不使用)実施日	教室 (集団)	栄養教諭	クラス	・アレルギー・宗教・信念など多様な食習慣への理解と尊重について	
10月 24日・ 11月 10日	ICTコミュニケーションツール	栄養教諭	保護者	・市販品を活用しカルシウム摂取量を増やす主菜の提案 ・カルシウム摂取量を増やす副菜の提案	
11月 11日	保健室	栄養教諭	児童	・給食の栄養について(2年時の食育授業の振り返り) ・行動計画実施状況の確認	ワークシート
11月 12日	保健室	栄養教諭 養護教諭	児童 保護者	・行動計画の実施状況を確認し、見直す	
11月 12日	教室 (集団)	生産者 栄養教諭 学級担任	クラス	・給食で使用する地場産物の生産について	
12月 4日	保健室	栄養教諭	児童	・乳アレルギーの食事で不足しやすい栄養素について ・行動計画実施状況の確認	ワークシート

(4)連携計画(体制・計画)

・食に関する指導の全体計画に、食に関する個別相談指導を位置づけている。具体的な流れを職員全体に提案し、共通理解を図った。

担当	内容	時間・頻度など
栄養教諭	栄養教育を実施する。	栄養教育計画に準ずる
	行動目標の達成状況の確認をする(すくすくファイル)。	毎週月曜日　清掃時間
	身長・体重の計測結果・成長曲線をモニタリングする。	毎週月曜日　清掃時間 ※給食摂取による体重測定値への影響を避けるため、期間の途中から、測定時間を午前中の休み時間(業間休み)に変更した。
	給食の喫食状況の確認をする。	月～木曜日　給食時間
	関係職員・保護者と進捗状況の共有をする。	毎週月曜日
	関係職員・保護者と最終報告の共有をする。	1月
養護教諭	身長・体重を計測する。	毎週月曜日　清掃時間
	成長曲線のモニタリングをする。	毎週月曜日
	進捗状況の確認をする。	毎週月曜日
	最終報告の確認をする。	1月
学級担任	給食の個別対応の必要性と理解について学級指導をする。	10 月3日(実施に合わせて)
	給食の喫食状況を確認する。	毎日　給食時間
	進捗状況を確認する。	毎週月曜日
	最終報告を確認する。	1月
管理職	進捗状況を確認する。	毎月
	最終報告を確認する。	1 月
保護者	家庭での食事・給食での代替食の準備をする。	毎日
	がんばりカードの確認・保護者欄記入をする。	毎日

(5)個人情報の管理・倫理的配慮

【個人情報の管理】

・個人データの取り扱いはパスワードのかかる専用パソコンのみで行う。

・紙媒体は、鍵のかかる文書棚にて保管。

・個人データを含むファイルにはパスワードをかける。

・個人データを含む書類の処分は2名以上で確認の上、行う。

【倫理的配慮】

・本人及び保護者に申し出により、実施同意後であっても実施を撤回することができる。

6. 実施・モニタリング

(1)指導内容

【身体測定】

・身体測定は保健室で週1回実施し、記録した。



【がんばりカード】

・対象児童:週に1回栄養教諭へ提出した。

・栄養教諭:児童の好きな色やイラストを使用するなど、児童が楽しんで取り組めるように工夫をして作成した。

取組状況・内容を確認し、コメントを記入して返却した。スキャンしデータは保存した。

・保護者:週に1回コメントを記入した。



【栄養教育】

・カルシウム摂取量を増やすための主菜、副菜の提案を保護者に行った。

保護者の負担を軽減しながら、カルシウム摂取量を増やせるように市販品の中から児童の嗜好に合った食品や給食の献立を選んで提案をした。





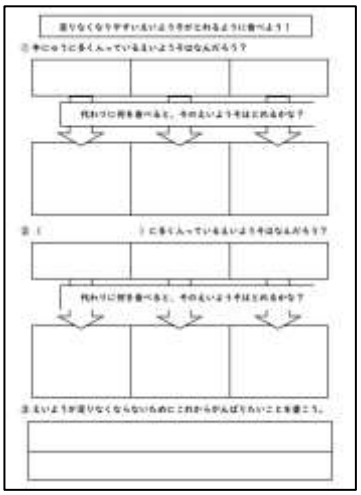
・2年生の学級活動で既習している給食の栄養について、同じワークシートを用いて復習をし、自分の食事状況の振り返りをした。エネルギーや栄養素に不足があるかもしれないことに気が付き、「栄養をとって健康な体でいたい」という意欲をもつことができたため、事後の実践活動を提案した。取り組むことが増える負担感を軽減するために楽しく行えるようにすごろくを取り入れ、資料も本人の好みに合わせて作成をした。







・図書室の本を使って乳アレルギーの食事で不足しやすい栄養素を確認し、それを補うために代わりに摂るとよい食品を一緒に選び、これからがんばりたいことを考えた。



(2)モニタリング

身体測定状況

月日	身長(cm)	体重(kg)	肥満度(%)
10 月2日	127.9	21.6	-19.2
10 月 14 日	128.1	21.8	-18.8
10 月 20 日	128.6	22.2	-18.2
10 月 28 日	128.6	21.8	-19.6
11 月5日	128.6	21.8	-19.6
11 月 10 日	128.7	21.9	-19.4
11 月 17 日	129.4	22.0	-20.2
11 月 25 日	129.3	22.0	-20.0
12 月1日	129.0	22.4	-18.1

児童の行動計画の実施状況

月日	A 間食	B 野菜ジュース	C 給食パン	D バナナ・豆乳
10 月3日～13 日	6/6回	6/6回	1/2回	11/11 回
10 月 14 日～19 日	2/4回	4/4回	2/2回	6/6回
10 月 20 日～27 日	4/5回	5/5回	1/1回	7/8回
10 月 28 日～11 月4日	3/5回	5/5回	3/3回	8/8回
11 月5日～9日	1/3回	3/3回	2/2回	5/5回
11 月 10 日～16 日	1/4回	2/4回	0/0回	7/7回
11 月 17 日～24 日	4/5回	5/5回	2/2回	7/8回
11 月 25 日～30 日	2/4回	4/4回	1/1回	6/6回
12 月1日～7日	3/5回	5/5回	2/2回	6/7回
達成率	63%	95%	93%	95%

保護者の行動計画の実施状況

月 日	実施状況	詳細
10 月8日	―	カルシウム強化米の利用開始
11 月8日	家庭での米飯提供において、強化米の使用頻度は半分程度。 カルシウム摂取量＋27 ㎎/日	・まとめて炊き、冷凍をしているため、入れ忘れてしまうと連続して食べない日が続く。 ・炊き込みご飯の時は入れていない。 ・ひと月で 50g(一袋)消費のペース
12 月8日	家庭での米飯提供において、強化米の使用頻度は半分程度。 カルシウム摂取量＋27 ㎎/日	・追加購入をして継続している。

観察・面談等の記録 (「・」…観察・面談等についての記録、「★」…栄養教育についての記録)

月日	記 録
10 月 14 日	・給食の主食がパンの日に、机の上にパンを出して食べ完食した。
10 月 20 日	・運動会練習期間のため、給食前には空腹感を、給食終了後には満足感を伝える発言があった。 ・児童から毎日の間食摂取の適正量について質問があった。身長の伸びに伴い、成長段階に見合った適切な体重増加を図るため、補食としての継続的な摂取が必要であることを指導した。
10 月 21 日	・特別献立(アレルゲン 28 品目・動物性食品不使用)実施日のため、学級で給食中に食育動画を視聴した。 ・クラスメイトが食物アレルギーについて理解を深めている姿が見られた。

11 月5日	・運動会終了により、給食前の空腹感減少を伝える発言があった。 ・習い事への移動時間が制約となり、放課後の間食を摂れない日があることが分かった。
11 月5日 ～10 日	【保護者への伝達】 ・体重増加が 10 月 28 日測定以降、停滞している。 ・運動会終了により、給食前の空腹感減少を伝える発言があった。 ・給食の様子について、パンの日のパンの完食が増え、給食が和食の日は副菜も食べられている。 【保護者からの聞き取り】 ・カルシウム強化米は継続して実施しており、1袋を消費した。 炊飯時の入れ忘れや炊き込みごはんのために入れないことがある。 ・放課後の間食が摂れない理由は習い事までの時間の不足である。 ・プロテインの摂取が連日ではないため、準備を失念することが多く、豆乳のみを摂取する頻度が増加している。➡行動計画の実施方法の変更を検討
11 月 11 日	★栄養教育「給食の栄養について」実施。 ・自分自身の食事状況を振り返り、エネルギーや栄養素摂取状況を確認する活動から、児童はエネルギーや栄養素に不足があるかもしれないことに気付き、「しっかり栄養をとって健康な体でいたい」という目標を記載した。 ➡事後学習として実践活動を提案する*。
11 月 12 日	★栄養教育：行動計画実施状況を確認し、見直す ・行動計画他①内容追加：排便記録を毎日行い記録する。（がんばりカード） ・行動計画他②身体測定時間を変更：清掃時間→業間休みにする。 ・行動計画D2プロテイン摂取方法：保護者と毎日継続実施しやすい方法を相談し、毎日1回量の半量を豆乳に混ぜるように変更する。
11 月 17 日	★栄養教育「給食の栄養について」の事後学習として、「3つのえいようそろえようすごろく」 を提案→11 月 20 日よりスタートする。
11 月 25 日	★「3つのえいようそろえようすごろく」の1枚目がゴールし、達成は簡単だったと話す。意欲的に取り組んでいたのでレベルアップをしたミッションカードとすごろくカードを配付した。
11 月 26 日	・給食時に自分からも周りの友達に話しかける姿がよく見られるようになり、以前に比べて食事中の表情も明るく感じられるようになった。
11 月 27 日	・登校直後、顔面および四肢の関節内側に発赤、かゆみが出現した。 抗ヒスタミン薬を服用させ、保健室にて2時間の休養をとった。本人には前日の学校行事および習い事による疲労蓄積の自覚があった。

12 月4日	★栄養教育「乳アレルギーの食事で不足しやすい栄養素について」実施。 ・牛乳に多く含まれるカルシウム等の栄養素を摂取できる代替食品について、図書室の本を活用して調べる学習をした。 ・自ら積極的に摂取したい食品の選定を行ったが、苦手な食品については、不足しがちな栄養素を豊富に含むものであっても、選択しなかった。 ・これからがんばりたいこととして、給食での野菜ジュース（牛乳の代替食）摂取を継続することをプリントに記載した。

*11 月 11 日に実施した栄養教育の事後活動（給食喫食）の達成状況（11 月 20 日～12 月5日）

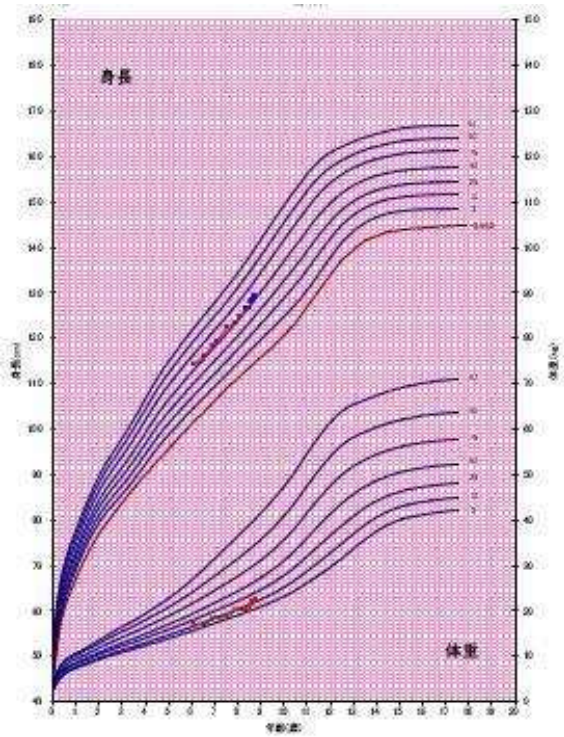
	主食	主菜	副菜
全部食べられた日	11 日/11 日	7日/11 日	8日/11 日

7. 再アセスメント（実施後の現状把握と課題の抽出）

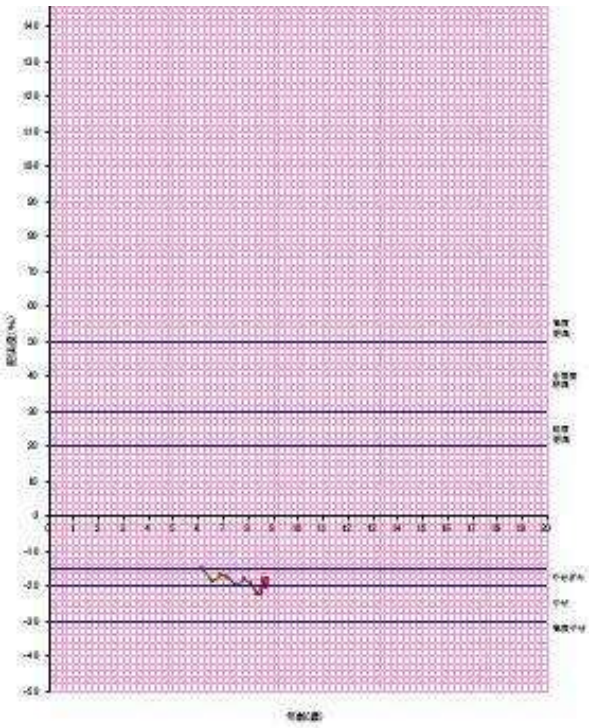
(1)体格

再アセスメント時：身長 129.5 ㎝、体重 22.6kg、肥満度-18.2%

成長曲線



肥満度曲線



課題
・やせ傾向である。

(2)生活習慣等

①体調

現状
・姉妹で異なる習い事をしているため、帰宅や食事の時間が異なることがあり、慌ただしさや疲労を感じることある。
・疲労感がある日は、登校後に食物アレルギーの症状が出現することがある。

課題
・疲労感がある日は、登校後に食物アレルギーの症状が出現することがある。

① 生活・運動

現状
・休み時間に友達と鬼ごっこなどをして外遊びをすることをとても楽しみ感じている。

課題
・なし

② 食事・食生活

現状
・食事中に代替食(野菜ジュース・パン)を机の上にだして食べ、完食をしている。
・給食中の表情が明るく、他の児童に自分から話しかける姿が見られることが増えた。
・片付けを他の児童と同じころに始めるようになり、除去食容器を体で隠す仕草がなくなった。
・給食では、主食を食べられる日が増えているが、副食を食べ残していることや箸をつけないことが多い。
・栄養教育で提案した食品を購入して家庭で実践している。
市販されている冷凍のアレルギー対応栄養強化食品は少なく、注文の場合は購入できる単位が大きいので家庭での冷凍保管が難しく購入できなかった。
・間食には保護者がカルシウムを多く含む食品や栄養強化食品を探して、取り入れるようになった。
・習い事への移動時間が制約となり、放課後の間食を摂れない日がある。
・給食について味付けは「ちょうどよい」と感じているが、量については「多い」と感じている。給食時間を「うれしい」、「楽しい」、「うるさい」と感じていることや食事時間を「短い」と感じていることに変化はなかった。
・家庭での会話から、本指導を通して児童の給食喫食への意欲向上や個別対応によって周囲と異なる給食であることに起因した不安感の軽減を保護者は感じている。

課題

・給食の副食を食べ残していることや箸をつけないことが多い。

・放課後の間食を摂れない日がある。

③ 食物アレルギー

現状

・入学前に卵アレルギーは解除となっているが、最近、家庭で卵料理を食べた時に腹痛や下痢を起こすことが続いているため、次回受診時に相談を予定している。

・登校後、アレルギー症状のために保健室で休むことがあった。(11月)

課題

・卵を食べた時に体調不良を起こす。

(3)食事調査

①調査方法

・平日2日、休日1日の合計3日間、食事記録および食事写真の確認、聞き取りを行った。

・食事記録は、保護者に ICT を活用したコミュニケーションツールによる記録を依頼した。

・食事写真は、保護者に撮影を依頼した。

・食事記録および食事写真は、栄養教諭へ提出するよう依頼した。

・食事記録法および食事写真で不明な点は電話により保護者から聞き取った。

②解析方法

・上記の方法から、朝食、昼食、夕食、間食に分け、栄養素等摂取量を「日本食品成分表(八訂)」から算出した。

(4)食事調査結果

①1日目(平日)

朝食	昼食	夕食
		
・のり茶漬け ・豆乳プロテイン (豆乳170mLに大豆プロテイン大さじ1.75) ・バナナ ・みかん ★普通のヨーグルト7g	ごはん(**全量喫食**) 野菜ジュース(**全量喫食**) サイコロおでん(**2割喫食**) たくあん和え(**ほぼ全量残し**) みかんゼリー(**全量残し**)	・ごはん ・麦茶 ・しそ納豆 ・オムレツ(3㎝×3㎝残し) ・スープ ・寄せ鍋

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	762	23.3	-	9.6	149.0	249	141	4.7	100	0.5	0.39	0.19	49	4.7	2.3
給食	432	8.9	-	2.2	99.4	51	42	1.1	192	0.1	0.16	0.09	30	5.2	0.5
夕食	596	22.4	-	27.7	72.1	113	86	3.0	287	1.5	0.40	0.49	14	8.5	0.7
間食															
合計	1,790	54.6	2.4	39.5	320.5	413	269	8.7	579	2.1	0.95	0.77	93	18.4	3.5

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:2.0g

② 2日目(平日)

朝食	昼食	間食	夕食
			
・卵乳不使用食パン ・キャラメルシナモンシュガー ・豆乳 ・シャインマスカット ・バナナ ★普通のヨーグルト7g	・乳不使用パン(**全量喫食**) ・野菜ジュース(**全量喫食**) ・いかナゲット2こ (**1割喫食**) ・大根サラダ (**ほぼ全量残し**) ・チリビーンズ (**ほぼ全量残し**)	・カルシウムせんべい ・ぽりぽり小魚 ・あじのみりん干し (**夕飯のおかずを先に食べた**)	・ごはん(130g) ・塩昆布 ・焼き芋 ・切り干し大根の煮物 ・スープ

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μg RAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	417	12.6	-	8.9	75.1	86	82	2.8	7	0.0	0.25	0.12	18	4.8	0.9
給食	262	9.0	-	4.0	49.7	52	39	1.2	160	0.0	0.13	0.11	5	3.6	1.1
夕食	524	12.8	-	9.0	105.8	150	93	2.3	87	0.0	0.21	0.13	38	10.1	2.3
間食	164	14.7	-	6.4	14.3	219	32	0.8	1	2.2	0.07	0.08	0	1.7	1.3
合計	1,367	49.1	2.2	28.3	244.9	507	246	7.1	255	2.2	0.66	0.44	61	20.2	5.6

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.8g

③ 3日目(休日)

朝食	昼食	間食	夕食
			
・ごはん(130g) ・ひじきふりかけ ・柿 ・プロテイン入り豆乳 (豆乳170mLに大豆プロテイン大さじ1.75)	・乳不使用クロワッサン ・麦茶 ・いちごジャム ・たいやき ・皮なしポークウィンナー ・ぽりぽり小魚 ・なしゼリー	・カルシウム強化 コーヒー豆乳	・ナポリタンパスタ ・ぎょうざ4つ ・カルシウム強化かにカマ 2本 ・フライドポテト

栄養素等摂取量

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
朝食	398	15.8	-	8.7	68.0	234	82	3.5	36	0.1	0.18	0.11	29	4.9	1.0
昼食	707	13.7	-	24.5	109.3	116	53	1.1	25	1.9	0.43	0.19	128	2.8	2.3
夕食	696	18.8	-	26.3	98.9	85	80	2.5	93	0.3	0.36	0.18	34	9.5	3.7
間食	75	2.6	-	3.4	8.6	244	16	0.4	0	3.6	0.01	0.01	0	0.1	0.1
合計	1,876	50.9	2.3	62.9	284.8	679	231	7.5	153	5.9	0.98	0.49	191	17.3	7.1

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.8g

④食事調査結果　まとめ

平日2日間の平均および休日の栄養素等摂取量

〔平日2日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,579	51.9	2.3	33.9	282.7	460	257	7.9	417	2.2	0.81	0.61	77	19.3	4.6

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.9g

〔休日1日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,876	50.9	2.3	62.9	284.8	678	231	7.5	153	5.9	0.98	0.49	191	17.3	7,1

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.8g

〔平日2日間・休日1日間　合計3日間の平均〕

エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
1,677	51.5	2.3	43.6	283.4	533	249	7.8	329	3.4	0.86	0.56	115	18.6	5.4

標準体重(kg)あたりのたんぱく質:1.9g

現状

・アセスメント時に比べてエネルギー摂取量は増加(+158kcal)し、たんぱく質摂取量は減少(-6.6g)した。

・アセスメント時に比べて給食におけるエネルギー摂取量が増加(+192kcal)した。

・給食での副食の喫食率は向上したが、まだ少ない状態は継続している。

(7月)主菜:12.5%　副菜:0%　汁物:1.2%→(12 月)主菜:13.3%　副菜:5.1%　汁物:5.4%

・野菜の摂取量が少ない。朝食:0.0g/回　昼食:4.3g/回　夕食:55.8g/回

・カルシウムの摂取量が少ない　533mg/日

・ビタミンDの摂取量が少ない　3.4μg/日

課題

・給食の副食の喫食率が少ない。主菜:13.3%　副菜:5.1%　汁物:5.4%

・野菜の摂取量が少ない。朝食:0.0g/回　昼食:4.3g/回　夕食:55.8g/回

・カルシウムの摂取量が少ない　533mg/日

・ビタミンDの摂取量が少ない　3.4μg/日

8. 個人評価

(1)アウトカム

評価：1

【評価基準】1：個人目標を達成できた　0：個人目標を達成できなかった

	アセスメント 10 月	再アセスメント① 12 月	個人目標②	個人目標との差 ①　-②
身長（cm）	127.9	129.5	129.5	0
体重（kg）	21.6	22.6	22.6	0
肥満度（%）	-19.2	-18.2	-18.2	0

目標であった体重1kg 増加を達成した。

(2)アウトプット

【評価基準】4:できた　3:おおむねできた　2:あまりできなかった　1:できなかった

■評価指標

項目		評価	内容
スクリーニング		4	全体計画に沿って実施することかできた。スクリーニング条件について学校の課題を考慮して、養護教諭と決定することができたため適切に対象者の選定ができた。
アセスメント	現状把握	3	保護者からの聞き取りでは、質問項目を事前に保護者に伝えたことや会話の展開を考えて質問順を整理し、聞き取りに臨んだことでスムーズに行うことができた。 養護教諭と連携して児童の心境や本音に寄り添って聞き取りを行い、信頼関係を構築することができた。今後は、スクールカウンセラーと早期から情報共有し、適切に現状を把握して迅速に課題解決へとつなげていきたい。 給食時の観察結果の記録を残し、現状把握に役立てることができた。
	課題の抽出	4	アセスメント結果から抽出した課題の中から重要性と改善の可能性を精査し、本指導期間中にできる課題を選ぶことができた。
個人目標の設定		4	アセスメント時の食事状況を考慮し、無理のない目標設定にすることができた。
栄養補給計画※1		3	再アセスメントの結果、栄養補給計画に対して計画通りの摂取状況であった。 体重増加は達成したが、アセスメント時よりも再アセスメ

			ント時のカルシウム摂取量が減少した。
行動計画		3	週1回、モニタリングを行いながら児童とこまめにコミュニケーションをとり、行動計画の変更をすることができた。学校行事の多い時期だったので、身体測定やモニタリングで休み時間が少なくなることが本人の負担になってしまった。
栄養教育計画		4	行動計画の達成率が低下した時期に栄養教育を個別と集団で実施でき、達成率が改善した。 指導後の事後活動は、実施の可否や方法を児童自身が決定することで、意欲の向上が見られた。
連携計画		4	それぞれの専門性をいかして、計画通りに実施することができた。適宜、関係職員と情報を共有し、指導の経過を把握することができた。
個人情報の管理		4	計画に沿って情報管理を徹底することができた。校務用クラウドシステムを用いたことによって、適切な情報管理をしながら給食センター勤務時においても本指導に関する業務を行うことができた。
指導・モニタリング		3	養護教諭が身体測定時に、児童の気持ちや状況を聞き取ることができた。 「がんばりカード」や「えいようすごろく」は児童が楽しんで取り組めるように工夫をし、記録や記述の負担が少なくなるように作成した。 保護者とは ICT を活用したコミュニケーションツールを用いて経過の伝達や聞き取りをこまめに行うことができたが、がんばりカードへの記入が継続されなかった。今後は既に学校が導入している連絡システムの活用など連絡方法を検討し、運用性の向上を図りたい。
再アセスメント	現状把握	3	アセスメント時と同様の項目を聞き取り、変化を確認することができた。 食事記録は児童用タブレットで保護者が送付していたため、夜間に利用制限がかかるなどスムーズに送付ができないことがあった。 学級担任や養護教諭など関係職員と連携して、児童の変化を把握することができた。
	課題の抽出	4	体重が増加し、やせの進行を止めることができた。次期については、給食時指導や集団指導を活用してモニタリングを継続し、関係職員も必要に応じて連携して見守りを行う。

※1［再アセスメントと栄養補給計画の比較］

	エネルギー	たんぱく質		脂質	炭水化物	カルシウム	マグネシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンD	ビタミンB_1	ビタミンB_2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g/kg体重	g	g	mg	mg	mg	μgRAE	μg	mg	mg	mg	g	g
①栄養補給計画	1,650	53.0	2.2	45.0	260.0	750	160	8.0	500	6.5	0.7	1.0	60	11.0以上	5.0
②再アセスメント	1,677	51.5	2.3	43.6	283.4	533	249	7.8	329	3.4	0.86	0.56	115	18.6	5.4
①－②	-27	1.5	-0.1	1.4	-23.4	217	-89	0.2	171	3.1	-0.16	0.44	-55	-7.6	-0.4